土　地　利　用　計　画　図

土地の所在	高松市小村町字南下所99、100、101-1

用途白地地域(特定用途制限地域)一般・環境保全型(平地部)
予定建築物の用途　：　一戸建ての住宅

凡　例

	雨水最終桝 φ350（泥溜0.15m以上、深さ0.9m以下）VUφ150　i=1%
M	引込管ＰＰ２０　メータ１３㎜
	流水方向
	開発区域
	FV側溝300(自由勾配側溝300)(グレーチングT-25)
	L型側溝
	街渠桝　グレーチングT-25　VU150コンクリート巻き

隣地の排水を経由しているため撤去不可

最終放流先１	
水路天	4.530
計画管底	4.037
通常水位	2.630
水路底	2.530
管種・管径	重圧管300
管延長	2.22m
管勾配	1.5%

最終放流先２	
水路天	4.860
計画管底	4.252
通常水位	2.860
水路底	2.760
管種・管径	重圧管300
管延長	1.86m
管勾配	1.5%

座標リスト			
点名	X	Y	Z
T1	142281.318	55404.087	
T2	142185.522	55388.864	
T3	142171.626	55463.480	5.90
T4	142255.467	55494.530	

（注記）
・VU管埋設場所につき、車載部で土被りが0.6m以下の部分はｺﾝｸﾘｰﾄ保護を行うこと。
・地表水を集水する桝はグレーチング又は穴空きを設置すること。
・地表水及び排水を集水する桝は泥溜を１５ｃｍ以上確保すること。
・埋設管の交差箇所は３０ｃｍのクリアランスを設ける。
　ただしクリアランスが確保できない場合で管保護をした場合は最低１０ｃｍとする。
・画地内の法面は30°以内の傾斜とする。
・画地内の整地は最終桝に表面雨水が集水するよう仕上げること。
・L型側溝とFV側溝の接続部は段差が生じないよう施工する。
・開発協議は最終桝から一次放流先までとする。
・開発道路内には電柱を設置しない。
・L型側溝は雨水が滞留しないよう施工すること。
・擁壁にはフェンス等を設置しない。
・家庭用汚水は合併浄化槽を経由し宅内桝を経て放流する。
・本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日からみなし年数以内に開発行為を行う場合、及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は建築指導課と協議すること。
・３０cm未満の高低差に用いる土留め壁は審査対象外であるので、設計者の判断による。
・宅地造成及び特定盛土等規制法の許可を受けたものとみなす。
・開発区域界に構造物がない箇所は鋲等で開発区域を明示する。

縮　尺	1／400

開発許可 年月日	第　　号	令和　年　月　日

申請者

株式会社アルファード２
代表取締役　七條政志

作成者 住所・氏名

高松市伏石町二二七四番地二五
行政書士　松澤人史